

2019年1月8日

ジャカルタジャパンクラブ
会員各位

ジャカルタジャパンクラブ
海外邦人安全対策連絡協議会

1-1. 安東総括公使冒頭挨拶

今年は大統領選挙の年であり、宗教の話等ささいなことでもすぐに政治問題化し治安の悪化につながる可能性がある。新聞やニュースなどから情報収集していただくとともに、大使館としても情報をつかんだら邦人に注意喚起をするように努めていきたい。

1-2. 又平領事部長冒頭挨拶

バスキ・チャハヤ・プルナマ元ジャカルタ特別州知事がクリスマス恩赦の結果、予定よりも早い1月24日に釈放される見込み（当館注：予定通り1月24日に釈放された）。今のところ直ちに影響があるわけではない（当館注：州知事在任中は自身の発言が宗教冒涇であると見なされ大規模なデモが行われた。）が、デモの動き等敏感になっていただきたい。

2 最近の政治・治安情勢

昨年はテロ犯による刑務所での立てこもりや教会でのテロ事件等、5月ごろはテロも多かったがその後のアジア大会やIMF世銀総会は治安上の問題なく終了し、治安当局の対応を評価したい。年末年始もテロの脅威は上がっていると言われていたが、実際のところはとても落ち着いており大きな事件等はなかった。今年は大統領選挙が開催される年であり、今後一気に政治的なムードになることが予想される。政治的な集会等には近づかないようにしていただきたい。

3 邦人に関わる最近の事件・事故報告

- 1) ひったくりが日常的に発生している。女性が歩道でタクシーを待っている間に手に持っていた携帯を盗まれるという事案が発生した。引き続き、邦人の方には道路上で携帯を持たない、かばんは前に持つ等心がけていただきたい。また、自動車の窓を開けたまま携帯を取り出して操作していたところ、窓の外から携帯を盗まれたという事案もあるので注意していただきたい。
- 2) バンドンではカナダ人がレストランを出た後に6名に襲撃され、かばんが盗まれる事件が発生した。飲酒後の注意力が欠如した状態を狙った犯行だと思われる。飲酒後、店を出てから車に乗り込むまでの時間も気をつけていただきたい。
- 3) 中央ジャカルタでは警察はカメラによる交通取締りを行っているが、州の運輸局のカメラも用いて取締りが行われることになった。交差点にカメラが設置されていることが

多く、違反者には罰金、罰金未納付の場合には車両登録の取り消しがされる可能性がある。道路の右折や左折の禁止箇所は改めて確認するようにしていただきたい。

(領事部からの補足)

- 1) 交通取締りについては大使館でも公用車・私用車ともに注意喚起を行っている。邦人への注意喚起という観点からも取締りの事例があれば、この場で共有いただきたい。
- 2) 昨年は日本人が巻き込まれる大きな事件・事故はなかったと承知している。
- 3) 12月22日にアナック・クラカタウが噴火し津波が発生した。大使館も情報提供と安否確認を行った。ジャカルタから決して遠くない場所であり、日本人が巻き込まれている恐れもあったが幸い被害はなかった。国家防災庁(BNPB)は、296名が死亡、7600人以上が負傷したと発表している。28日にはアナック・クラカタウの警戒レベルが引き上がっており沿岸地域の立ち入りには引き続き注意をお願いしたい。
- 4) 「防災十箇条」を大使館から領事メールで共有している。年末にはスカブミで地滑りが発生した。観光地だが、毎年雨季になると洪水、土砂崩れが発生するエリアなのでご注意ください。

4 最近の医療事情等

雨季に入り、デング熱の罹患者が増えているのでご注意ください。インドネシアの医療機関はデング熱については専門性が高いので、デング熱が疑われる症状があったらすぐに病院で診てもらうようにしていただきたい。

5 質疑応答、各社(団体)からの報告等

- 1) スンダ海峡津波では、PLN主催のコンサートが開催されており、その関連で事業会社スタッフの子供がけがをしたとの報告もある。ジャカルタから至近なリゾートということで、ナショナルスタッフが年末年始に旅行を予定していたという話もあり、身近な事案と感じている。
- 2) スンダ海峡津波では、社員が旅行から帰宅途中だったが幸い被害には遭わなかった。
- 3) スンダ海峡津波被災地へ抗生物質の内服および注射他医薬品をバンテンとランブンを輸送中。
- 4) リッポモール・クマンのユニクロで女性が子供といるところ、かばんから財布を盗まれたとの報告を受けている。
- 5-1) 昨年はテロが数件発生したが、アジア大会は無事終了し、クリスマスも正月も大きな事件なく終わった。インドネシアも生活がよくなり安全面が落ち着いてきた証拠だ

と思う。しかし気を緩めず引き続き警戒していくことが重要である。

5-2) 昨年は自然災害が多かった。海、川、山、丘に家を構えるのは危険。

5-3) 自動車走行中にタイヤがパンクし、交換作業中に車内のかばんが盗まれるという事件が発生した。12月20日19時頃に社員がタンゲランから帰宅中に左の後輪がパンクし、スペアに交換した後車内のかばんがなくなっていることに気づいたという。交換中、社員本人は車外に出て運転手を手伝っており、車の施錠もしていなかった。かばんには社用パソコン、社用携帯、手帳、現金300万ルピア、アパートの鍵、パスポートと身分証明カードのコピーが入っており、それらが盗まれてしまったとのこと。車外に出る場合は貴重品を持つ、または鍵をかける等徹底し、タイヤがパンクしても給油所や店の前まで行って交換作業をするほうが良い。

(領事部からの補足)

パンク強盗は古典的な手法で数年前は頻繁に発生していた。大使館として把握しているのはパスポートが盗まれた場合のみだが、3ヶ月に1回くらいのペースで発生していると認識している。過去には大使館から領事メールを流したこともあるのでホームページ等でご参照いただきたい。

6-1) スンダ海峡津波では、被災地となった場所にクライアントがいた。警備員の家族が被災したとの報告も受けている。

6-2) 交通規制について、違反や事故は幹部にSMSで報告がされる仕組みになっている。マネージメントには情報共有することが重要である。

6-3) デング熱について、社員が年末にタイへ旅行に行き帰ってきた後に自身含め家族が感染したとの報告があった。インドネシアの病院は対応が良い。デング対策として、栄養を取る、無茶な生活をしないことも重要。子供や高齢者、疲れやすい人に感染しがちのため、日頃から健康に留意いただきたい。

7) 火災やひったくりに関する報告を受けている。火災に関しては、日頃の備えもあり大きな被害はなかった由。また、ひったくりは、女性が被害に遭いそうになったところを警備員が助け未遂に終わった。

8) 年末はアメーバ赤痢、腸チフスの感染が多かった。食事には改めて注意いただきたい。

9) 1月25日に爆破予告があった場合を想定した避難訓練を予定している。

(領事部からの報告)

年末年始に日本に一時帰国した人のうち、日本からインフルエンザウイルスを持ち込ん

でしまい、インドネシアで感染が広まることがある。ご注意ください。

2月6日に在外安全対策セミナーを予定している。危機管理の専門家からの講演と実習を含めた参加型のセミナーになる予定。2月の海安協も兼ねて実施することとしたい。

以上